

豊庄だより



第 717 号 2022 年 8 月 1 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

「選別キャンプ」。ロシアが行っている非人道的な命の選別です。ウクライナ東部戦線における避難民を「選別」しています。スマホの履歴や衣服を取らせ体に銃の訓練をした形跡があるかなどを調べ、疑わしい人はロシアの収容施設に、そうでない人はウクライナに返すという「選別」が行われています。ロシアに送られた人のその後は不明です。

この「選別」を知り、私は日本軍がシンガポールで行った「大検証（だいけんしょう）」とまるで同じじゃないかと思いました。1942 年 2 月 8 日、当時イギリスの植民地だったシンガポールを日本軍は攻撃し、占領



「検証」の様子

しました。占領の翌日からシンガポールは「昭南島（しょうなんとう）」と改称され、軍政が敷かれました。この時、華僑の母国である中国は日本の侵略を受けていたので、シンガポール在



住の華僑は、抗日活動家を中心に中国を積極的に支援していました。そこで日本軍はそのルートを断つため、華僑を弾圧。3 日間に 20 万人もの華僑を集め、取り調べました。抗日活動家であるという明確な手掛かりはありません。ある人は「検」という証明書、ある人は「嚴重処罰」（これは、死刑を意味していました）。市内数か所で処刑が行われ、その数は（正確な数字ははっきりしませんが）、8600 人余りとシンガポールの研究者は述べています。

2001 年 8 月、私は教員仲間とシンガポールにこの調査に行きました。市内には、「ここで大検証が行われ、トラックに乗せられ、連行されていった」という内容



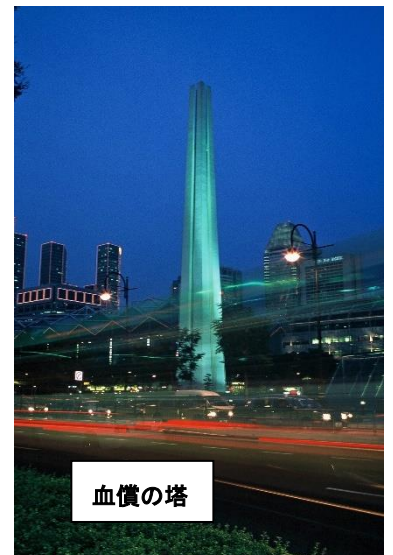
チャンギ海岸にある記念碑

の記念碑がありました。また、国際空港があるチャンギには、ここが虐殺の一つであると書かれた碑がありました。今は美しい海水浴場になっていますが、ここでも多くの華僑が殺されました。市の中心地にひときわ目につく白い塔がありますが、ここも虐殺地の一つで、現地の人々は「血償（けっさい）の塔」と呼んでいます。しかし、観光で訪れた多くの日本人は関心を寄せていません。大検証のことが、日本

の教科書には書かれていないことがその一因かもしれません。一方、シンガポールの日本人学校を訪問し、使われている教科書には、詳しく書かれていることを知りました。さらに、シンガポールの小学生の教科書にも「大検証」のことを学んでいました。加害者である日本の子どもたちは知らなくていいのか、真の友好関係を作るには両国の負の歴史に目を向けなくいいのかと疑問に思い、中学生向けの教材を、『人権読本ぬくもり改訂版』（福岡市人権読本編集委員会）に載せました。図書室にありますので、ぜひお読みください。



「検」と書かれた証明書



血償の塔